

房官臣大	選司務主
了結領受	領受
明曆	明曆
年	年
十月	十月
十一日	十一日
長	司



濟

大臣

次

4
 10
 10

主 持 人

10

王

三才圖會



高級刑官



上卷



件！接受

時氣

臨乾亦二八六号

鑄造化學局

名軍以軍下事場認備上費用前恆震運、

1521



五

閱



翰廷記

27/10

者記筆案錄

次官より回答案

茅八四一号ヲ以テ照会セラルル者ニ於テは陸軍部
 後田出納事務所ニ於テ軍隊乗取車場
 設備上ノ整頓前次電達ノ件ハ未ダ
 一週前ヨリ至ル

十月廿六日

又右ノ通年合計是等能ハ、同様案

別紙満乾分六六号ニ於テは陸軍部乗取車場
 照会ノ件ニ付、一週及回答ヲ台前迄
 重要電達ト相成

陸軍部 第三七九 附

十月廿八日

本件ノ裁旨支糸ニ至シテハ滿額才四九二三号九
月十日決裁漏ノ内ナリ

但上裁是量ノ内ヨリ支糸(十二ノ内ヨリ仕掃見)

陸軍省

5200



陸軍省 陸軍部 第二八二六 號



十月廿六日

十月廿六日

陸軍部 第二八二六 號

第八四一 号

當局計理部 秋田出張車 新所

。於軍軍隊乘下車場設海上

費用至急仕掛、必要あり

乃左記、通電送、海あり

此及、通電送、海あり

明治三十七年 十月十五日

陸軍部 長官 平井清二 郎



陸軍次官 石本新六 様

秋田縣秋田市 鐵道作業局 計理部 秋田出張事務所

一金千圓也 分任、市役官吏 鐵道書記 高原周次

鐵道作業局